

第75回宮城県中学校総合体育大会 ソフトテニス

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学生を育成するとともに、宮城県の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 宮城県中学校体育連盟 宮城県教育委員会
- 3 共催 仙台市教育委員会
- 4 主管 宮城県中学校体育連盟ソフトテニス専門部
- 5 後援 宮城県中学校長会 仙台市中学校長会 宮城県PTA連合会
 (公財)宮城県スポーツ協会 (公財)仙台市スポーツ振興事業団 河北新報社
 NHK仙台放送局 仙台放送 tbc東北放送 khb東日本放送 ミヤギテレビ

※団体・個人の優勝旗・優勝杯は21日に持参すること

- 6 期 日 7月21日(火) 7時10分 役員打合せ
 7時40分～8時10分まで**個人戦**受付(個人戦参加選手のみ)
 8時00分～8時30分までコート開放あり
 8時10分 監督会議(泉コート)
 8時40分 (放送による)開会式(泉コート)
 8時50分 競技開始(個人戦)決勝まで
 7月22日(水) 8時00分～8時25分まで**団体戦**受付(団体戦参加選手のみ)
 8時00分～8時30分までコート開放あり
 8時10分 監督会議
 1回戦がある学校は、8時30分までに本部へオーダー表を提出。
 8時40分 団体戦(放送による)開始式(泉コート)
 8時50分 競技開始(団体戦)ベスト4決めまで
 7月23日(木) 8時00分 団体戦受付開始
 8時00分～8時30分までコート開放あり
各校1回15分のコート開放を2回行う。
 8時40分 競技開始(団体戦)決勝リーグ
 7月24日(金) 予備日

7 会 場 21日～24日 泉総合運動場テニスコート(18面) シェルコムせんだい(8面)

8 競技規則 (公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び本大会要項による。

9 大会規則

(1) 競技方法

- 1) 団体戦
各地区から選出された男子28チーム、女子32チーム(監督1名、選手2組から3組で1チームを編成、登録4名以上8名以内)によるトーナメント方式でベスト4を決定する。その上位4チームにより決勝リーグを行う。
表彰は、第1位から第3位までの3チームとする。
- 2) 個人戦
各地区から選出された男子56組、女子64組によるトーナメント方式とする。
表彰は、第1位から第5位までの8ペアとする。
- 3) ゲーム数 全て7回ゲーム(天候により、5回ゲームにすることもある)
- 4) 使用球 男子個人戦:ケンコーボール、女子個人戦:アカエムボール
団体戦:ダンロップボール
- 5) 当日の天候や進行状況により、競技方法、ゲーム数を変更することもある。

(2) 申込方法

- 1) 所定の用紙で、直接、県専門部委員長に郵送または持参すること。
- 2) 所定の用紙で、県専門部委員長にメールでも送ること。
- 3) 申込先 仙台市立向陽台中学校 女川 貴広 宛
〒981-3117 FAX 022-374-0373
仙台市泉区市名坂字天神沢38-4 TEL 022-374-0311
メールアドレス ts006065@g.sendai-c.ed.jp

4) 申込締切 **令和8年6月17日(水) 厳守**

(3) 競技上の注意

- 1) 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスルールブック」及び本大会要項に従って行う。
- 2) コート割及び進行は別表の通りとするが、本部の判断で変更することがあるので、本部からの放送には十分注意すること。
- 3) 団体戦および個人戦の選手変更は認めるので、団体戦は22日の受付時に、個人戦は21日の受付時に、変更理由を当該校顧問が書面で提出すること。但し、個人戦については、申込みの1組が2人共支障がある時には変更は認められない。
- 4) マッチは**全て7回ゲーム**とするが、天候により、5回ゲームにすることもある。
- 5) 番号の若いチーム(プレイヤー)は、北側ベンチとする。
- 6) 個人戦について
 - ① 試合前の呼出しは原則として行わないので、次の試合の選手は、必ずベンチに控えること。
 - ② 審判は原則として選手が行い、敗者審判制とする。
- 7) 団体戦について
 - ① 3組の点取り法とし、2点を得たチームを勝ちとするが、1回戦およびどちらかのチームが初戦の場合は3マッチすべて行う。決勝リーグについては3マッチすべて行う。
 - ② オーダーは対戦チームが決まり次第本部進行係に監督が封筒に入れて提出すること。(1回戦は、8時30分までに提出すること)
 - ③ サービス(レシーブ)とサイドの決定は、3組の対戦毎にコートで行う。
 - ④ 審判は敗者審判制とし、敗者チームの監督が責任を持ち次の試合の審判を見守ること。決勝リーグについては、本部で行う。
 - ⑤ 試合前の呼出しは原則として行わないので、試合前のあいさつ時に出場選手がオーダー通りに整列していること。やむを得ず整列が遅れる場合は、事前に本部(競技委員長)に事情を説明すること。
- 8) 監督・コーチについて
 - ① 団体戦、個人戦ともに、監督・部活動指導員・外部コーチのいずれか一人のベンチ入りを認める。外部コーチがベンチ入りする場合は、引率責任者は必ずそのベンチ近くに待機すること。**地域クラブ活動には、必ず(公財)日本スポーツ協会公認の「コーチ1」以上の資格を有する者が在籍しており、大会においてベンチ入りするものはその資格保有者であること。**
 - ② マッチ内に選手にコーチする場合は、サイドチェンジおよびファイナルゲームに入る前のインターバル1分以内とし、監督・外部コーチが所定のベンチで行うこと。
 - ③ ベンチに入った監督・コーチは一度ベンチを離れた場合、戻ることができない。途中での交代もできない。
 - ④ チェンジサイズ時に監督は立って助言してはいけない。(ベンチに座るか選手をベンチに座らせて、自分は選手の高さくらいで助言すること)
- 9) 質問・提訴について
質問、提訴は個人戦の時はプレイヤー、団体戦の時はチームの監督・コーチ又はそのプレイヤーのいずれかがアンパイヤーに申し立てることが出来る。ただし、ポイントの判定については、そのポイントに限る。

(4) 服装

- 1) ユニフォームは、(公財)日本ソフトテニス連盟の着用基準を満たしたものとす。ただし、学校指定の体操服は可とする。
※**磁気ネックレスやミサンガ等の装飾品**は禁止する。
※**選手の腕時計の着用は認めない。**
※アンダーシャツやアンダータイツ・アームカバー、サポーター、テーピングを使用する場合、その色は、**白・黒・ベージュ**とし、**上下同色**とする。
- 2) 監督・外部コーチの服装は上下ともスポーツウェアを着用し、テニスシューズを履くこと。外部コーチとは、校長が承認したもので、日常の学校部活動の指導に当たっている者とする。
- 3) ゼッケンを背中に付け、**3段表記のもの**とする。B5版程度の白地で横長とする。

| |
|-----------|
| 宮 城 |
| 女 川 (貴) |
| 向 陽 台 中 |

 - ※上1 / 4 都道府県名(都府県は不要)
 - 中2 / 4 個人姓
 - 下1 / 4 中学校名(学校名の後に中の文字をつける)
またはクラブ名同一姓が複数いる場合は名の一文字を入れ区別する。
- 4) 靴はテニスシューズを使用すること。靴ひもが左右違う色は認めない。
- 5) ユニフォームに特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
- 6) 特別な医療用具を使用するときには、所定の医療用具使用届を大会本部に提出することとする。

(5) マナーについて

- 1) プレイヤーは、お互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする態度、発声をしないこと。
- 2) プレイヤーは、アンパイヤーの指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。遅延行為に対しては、警告を与えることがある。
- 3) 応援については、プレーをスムーズに進行させるため審判のコールやプレーに支障がないようにすること。相手を不快にしたり、他のコートに迷惑をかける応援をした場合、1回目は注意、以後度重なる場合は応援団の退場もしくは、選手の失格とすることがある。(競技部で判断し決定する。)なお、**団体戦・個人戦とも一斉応援を認める。**

(6) 部活動指導員について

・部活動指導員は、教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしてなければならない。

- 1) 満20歳以上であること。
 - 2) 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
 - 3) 他校と兼務していないこと。
 - 4) 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。
 - 5) 次のいずれかに当てはまる者とする。
ア教育職員免許法に基づく免許を有する者。
イ公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
ウ競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。
- ※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(7) その他

- 1) ごみ捨て場がないので、各校ビニール袋を準備し、ゴミは持ち帰ること。やむを得ない場合は、本部より営業用のゴミ袋を譲り受けること。